

だれでも幸せになれる教えです!!

ひかり

2025 年

10 月

242号

◇ 心はどこにあるのか
◇ 信仰に基づく会社経営
◇ 忘れてならぬ親の恩



ホームページ

宗教法人 真生会

令和七年信仰目標

仏の智慧を身に付けよう!!

『自分の成長と人救いのために』

真生会の教えとは！

仏さまの智慧とものの見方を身に付け、自分の運命を変え、在家の法華経教団です。宗旨宗派は問いません。どなたでも安心してお越し下さい。

◇慈悲の世界「真生楽園建設」

- ・ぬくもりと安心のある家庭と社会を作る
- ・思いやりと親切の実践

◇即身成仏「輝く自分作り」

- ・ありのままに輝く自分自身になる
- ・笑顔と明るい声かけの実践

◇幸福の五ヶ条

- 一、素直な心：（おかげさま）
- 二、誠の心：（まず人さま）
- 三、明るい心：（きつとよくなる）
- 四、尊ぶ心：（仏性を拝む）
- 五、信じる心：（皆、仏の子）

～お知らせ～

行事法要のご案内

第 33 回 大観音まつり ※供養受付中

10 月 26 日（日）於：総本山真生寺

10:30 開式

【真生大観音さま特別胎内仏供養並びに子孫繁栄総供養】

13:30 祝賀餅まき（景品くじ付） 会場：お祭り広場

七五三詣り・子供災難除け ※申込受付中

11 月 9 日（日）於：総本山真生寺 / 大阪教会

聖地一斉勤労奉仕

11 月 16 日（日）於：総本山真生寺

授与品紹介 「各種お守り」

総本山真生寺で授与いただける
お守りが新たに加わりました



写真右から順に

【安産】

【子授・子宝】

【結び（良縁・結婚）】

【眼病平癒】

価格 各千円也

ご自身・ご家族・知人様へ
それぞれのご祈願に応じて
お守りをご拝受下さい。

※授与ご希望の方は総本山真生寺へお尋ね下さい。
（〇五八―三五一七三〇四）

秋季彼岸先祖大法要

九月各日、総本山真生寺・各

教会において秋季彼岸先祖大法要が執り行われた。子供奉献の儀、御詠歌奉納の後、読経の中で先祖供養・各祈願が読上げられた。その後、総本山真生寺では岐阜教会の宮田雄貴青年部長が信徒体験法話に立ち、日常生活の不運な出来事を通して、相



手を許す心が發揮できたことを述べ、日々の実践から信仰の功德が得られたことを発表した。

続いて、会長先生のご真教法話では方便品の一節に触れ「私たち一人ひとりが仏になるには現象に振り回されず仏知見をもって心に大歓喜を抱いていくことが大切」と説かれた。参加者はご法話を拝聴した後、それぞれの感じたことや気づきを話し合い、ご法話からの学びを深めた。



ユーモアも交え体験法話をする宮田青年部長

お祓いをする大阪教会の大西教会長



読経供養

(大阪教会)



子供奉献の儀

(総本山真生寺)



御詠歌奉納

(名古屋教会)



たなかひでひと

田中偉仁開祖さまのみ教え



昔から実れば稔るほど、頭を下げる稲穂かなの
金言があり、また俗に馬鹿と煙は上がりたがる
と申しますが、いかなる時でも出世したり成功
する人は常に謙虚な考えを持ち、威張りません。

どんなに出世しても、頭が良くとも、報恩の心なき人は人生の落第生であ
ると自覚せねばなりません。高校、大学が合格できた学生は、莫大な入学
金と卒業するまでの授業料の応援は、親なくして学生生活を送れないと知
ることが大切です。常に今日あるは親のおかげと喜びを知る学生になつて
ほしいものです。子は宝です。この宝を光り輝かせるのも傷つけるのも、
親の積む徳次第です。親は立派に徳の七光りを子供に応援するのが慈悲で
あり、真の愛情であると自覚の出来る親となりましょう。

（1985年、真実に生きる53号より）

ご真教法話

会長 田中 庸仁



◇心はどこにあるのか

体のどこを探しても心は見当たりません。解剖しても体のどこにも心という臓器はありません。でも心はあります。

いったい心はどこにあるのでしょうか。それは他人や自然という外部との関係性、ふれ合いというご縁の中に「喜怒哀楽の感

情」つまり心が生まれるのです。

どんな人も自分ひとりでは生きられません。そして絶対的永遠的存在である自分「我」は存在しません。これを諸法無我と言います。

松本潤と小芝風花の「十九番目のカルテ」というTVドラマにはまっ

ていました。患者の心や生活背景に向き合い、病気だけではなく、病気を生み出しているその人の生き方を一緒に考え患者に気付いてもらう手助けをする総合診療医の話です。

少額ですが、真生会が毎月寄附をしている吉岡秀人医師が設立したジャパン・ハートというNGOがあります。途上国で医療を受けられない子供たちに^{むしやういりやう}無償医療を施し「命」を救うだけではなく「人生や心」を救う医療を信条として二十年にわたり目の前のひとりと向き合い続けています。

それでも助からない子供たちもいますが「亡くなくても感謝される医療を目指している」と語っておられたのが心に響きました。

ドラマもこのNGOも菩薩の人とのふれあい方そ



希とんぼ

のものです。菩薩は困っている人に寄り添い、悩み苦しむ心を共有して苦の根本から救われる「ばつくとらく拔苦与楽」のお手伝いをするのです。

悩み苦しみを乗り越える釈尊のしよほうせん処方箋と薬が法華經の教えです。

寿命品に「ぜこうろうやく是好良薬、とど今留めてここにお在く。汝なんじ取つて服すべし」とあります。この色・香・味よわい美き万病に効く薬は、飲ませてもらうのではなく自分で飲む、つまり実行すれば必ず効果があり、すべての病気が治るのです。

◇信仰に基づく会社経営

人生は「諸行無常」と言つて変化の連続であり、地獄・餓鬼・畜生・修羅・人間・天上という六道をぐるぐるりんね輪廻しており、天国と地獄は表裏一体です。地位も財産も健康もある天上界の生活もあつという間に地獄界に墜おちる時もあります。これが苦の娑婆の現実です。この六道輪廻を抜け出し、仏の悟りねはんⅡ涅槃Ⅱ成仏を目指すのが仏教の最終目標です。

九月三日、サプリメントの大手企業であるサントリーホールディング

スの新浪剛史会長が違法サプリメント購入の嫌疑で
搜索を受け、無実を主張されたが道義的見地から辞
任され衝撃が走りました。

真偽のほどは分かりませんが、大企業のトップと
いう天上界から一瞬にして地獄界に転落すること
あるのです。サプリメントが専門の会社の会長がま
さかの違法サプリメント疑惑です。

人生は好きなこと、得意なことの中に落とし穴が
あるのです。職人でも見習いよりもベテランになる
ほど油断して大怪我をすることがあります。

個人商店も企業もただ儲けるだけの一人勝ちでは
なく、信仰に基づいた布施や八正道の経営、日本の
商業を牽引した近江商人の三方よし（売り手よし、
買い手よし、世間よし）の実践が必要です。



◇忘れてならぬ親の恩

私事ですが、七月三十日に次女の第一子、六人目の孫が誕生しました。仏説父母恩重經に「父には慈恩があり、母には悲恩がある。その理由^{わけ}は、人がこの世に生まれるには、宿業（前世の行い）を原因とし、父母の縁によつて生まれるからです。父が無ければ生命^{いのち}が宿^{すく}ることはなく、母がなければ育ちません。悲母が子を思う心は、世間の何に比べることも出来ません。その恩は受胎して形になっていない状態から始まり、十月^{とつき}の間、行・住^{ぎようじゆう}・坐^ざ・臥^が、二十四時間身も心も休まる時がなく、どんな美味^{おい}しい食べ物や素敵な衣服よりも、ただ一心に我が子の無事安産を第一に思っているのです。いよいよ出産の時には呼吸があがり、全身が痛み、あぶら汗が流れ、その苦しみは耐えがたいのです。父は身の置き場もなく、母子ともに無事に生まれることを念じてオロオロし、親兄弟もみな同様に苦悩するのです。無事生まれた時の父母の喜びは計りなく、比類ない宝物を得たような喜びです。生きた心地もなかった母も産声^{うぶごゑ}を聞い

た瞬間、自分が生まれ変わったかのように初めて安堵^どするのです。ゆりかごを離れる頃までには、おむつ交換で十指の爪を汚^{よご}し、昼夜に母乳やミルクを飲むこと千八百回にもなります。天に極^{きわ}まりがないように父母から頂いた恩は計り知れなく重いのです。」

誰も覚えていませんが、この世に生まれ無事育つまでには計り知れない恩があるのです。その親、特に母親を悪く思ったり不足に思うことは大の親不孝、恩知らずとなり幸せにはなれません。

娘も初産^{ういざん}でお産の一月^{ひとつき}ほど前から実家に来ていました。産後も一ヶ月ほど世話をさせてもらい三月^{みつぎ}越しにならないように八月末に嫁ぎ先に帰りました。（昔の人の知恵で三月越しの六十五日以上になると方位が働くからです）



出産後も昼夜通して三時間ごとの授乳、おむつ交換、沐浴^{もくよく}、抱っこなど、身の休まる間もなく、睡眠不足で娘の疲労が目に見えます。それをカバーする母親の苦労も並々ならぬものがあります。

私は今どきの若い婿^{むこ}さんのようにおむつ交換や授乳や沐浴の手伝いはできませんので、たまに短い時間抱っこしてあやすぐらいの手伝いでした。後は時折り、疲れた妻の肩を揉^もんだりパンパンに張った背中や腰を一心行で押んで、もみほぐしてあげることぐらいでした。

抱っこした時は、「どうか大きくなつても、自分の身に替えて一生懸命世話をしてくれた母や祖母の恩に応^{こた}える優しい子に育つんだよ！」と孫に語りかけていました。

仏教には何宗でも「ご本尊」があり、手を合わせて拝みますが、私たちがこの世に生まれて来た直接の本である親が拝めてこそ「ご本尊のご守護」が頂けます。「三度の食事忘れても、忘れてならぬ親の恩」親に感謝合掌できる人間になりました。

先師の名言、名句

莫^{まく} 妄^{もう} 想^{ぞう}（妄想する莫^{なか}れ）

私たちの日々の悩み苦しみは、相手や出来事に対する誤解や錯覚、つまり自分のマイナス発想による勝手な思い込みが作り出している幻想のようなものです。これを「妄想」と言います。

どんな出来事も私を責めているのではなく、私を磨き向上させるために仏さまが送って下さるエールなのです。そう明るく考えれば、朝露や霧が明るい太陽の日差しに合えば、あつという間に消え去るように悩み苦しみは消滅するのです。



開祖さま揮毫掛け軸
（真生寺所蔵）

今月の運勢（11月）

（2025年11月7日～12月6日）

一 白水星

多くの人が集まるので場づくりが大切。誰に対しても一貫して陰日向なく差別のない温かい心で接することが運氣を高める。すぐに成果は出なくても諦めず奉仕の心で最後まで仕上げをしっかりと。

二 黒土星

新しいことを始めたり大きな事を成す時ではない。本来の特性を生かしてコツコツと基盤作りに集中してエネルギーを蓄えよう。周囲から注視されているので優しさと親切心をもって接すること。

三 碧木星

物事が勢いよく動き大

きな成果を生む時だが、勢い余って正道を踏みはずさないこと。

勢いがよすぎて乱暴にならないよう注意。常に自分を制して進めれば前途は洋々である。

四 緑木星

何事をするにも一貫して誠実さを持ち続ければ危険な冒険や勝負をしても目的は達成できる。私心があると大きな失敗をする。互いに信頼できる仲間に任せれば吉となる。

五 黄土星

大きな問題が行く手に立ちふさがる。むやみに進まず、一旦立ち止

まり状況を見極めて最

出發をする時。新旧交代の好機、新しい人材を発掘しよう。

六 白金星

多くの仲間と力を合わせて進めば大きな川も渡ることが出来る。身近な仲良しグループではなく、広い視野で私情を交えず多様な人材を集めること。こちらの眼力が問われる。

七 赤金星

本来池に有るべき水が枯れている状況。事態に行き詰まり進退極まる苦難の時もあれば次には繁栄の時も来る。困難の真つ只中において毅然として楽しみ、

決心したことはやり抜くこと。

八 白土星

足元が不安定で崩れそうな危機が迫っているので強引に物事を進めてはいけない。やるべき目標をしっかりと決めること。時の流れに逆らわず、積極的に動かない方がよい。

九 紫火星

高運期に入り目標に向かって着実に進むことが出来る。やる気が高まって来るが慌てないこと。行く手をさえぎるものや邪魔する者があれば断固として取り除くこと。但し慎重に対処すること。

「まごころ誌代」御礼

★皆様の『まごころ次第』献金のご協力によって継続発刊しています。
紙面をもって感謝申し上げます。(敬称略・順不同)

堀部恭利	田中祥陽	後藤千代子	横山知津子	堀田純子
堀部祐美衣	田中理夏子	大橋千枝子	山本季美衣	大下裕子
山田佳延	熊田啓予	滝本光夫	佐藤百々枝	坪井祥子
豊田直正	亀井善広	長井常子	佐藤光洋	谷口祐晟
豊田真悠子	亀井由実子	多田敏春	伊東 晃	谷口祐子
横井志奈子	田中宏明	岸本昌子	安田初子	宮島りえ
加藤祐記子	田中花音	岸本周夫	細谷早予子	平口富子
飯田昌子	早野起世	亀井善二	荒木敬依子	笹原トミ子
飯田修五	早野桂子	福元正子	滝山恵依子	笹原正子
宮田雄貴	多田正幸	京川春男	長尾夏芳里	出田 溪
多田佳央	多田道子	鈴木正巳	永田雅子	樋口恵美子
山部眞一	高橋身衣	土川順寛	石丸祐視子	樋口容子
松尾定洋	鈴木快法	土川恭代	片桐淳子	小村友子
田中庸仁	足立和美	土川康二	小村友子	長尾かれん
田中佑季子	大橋末子	土川廣美	坂本育身	林田早紀子

《入会のご案内》

真生会は、個人の心の勉強と実践を目的とする個人会員制です。各家の
宗旨宗派はご自由です。詳しくは総本山真生寺、各教会にお尋ね下さい。

☆会員会費 500円 / 月

発行所 宗教法人 真生会 総本山真生寺
〒501-1105 岐阜市彦坂178番地
TEL 058(235)7304

発行人 会長 田中庸仁

振込先 三菱UFJ銀行 岐阜支店
普通口座 3715509

名義 宗教法人真生会 代表役員 田中庸仁

しあわせ眼鏡

苦^{にが}いだけ厳^{きび}しいだけの人
生は長続きしません。
たまには甘^{あま}さも必要。
でも、甘いだけではなく
隠し味に塩があると味が
引き締まる。
苦勞という隠し味がある
と人生も深みが出る。

お気軽にご連絡ご相談下さい

- | | | |
|----------|------------|--|
| 【総本山真生寺】 | 〒 501-1105 | 岐阜市彦坂 178 番地
T E L 058 - 235 - 7304 |
| 【岐阜教会】 | 〒 500-8882 | 岐阜市西野町 3 - 19
T E L 058 - 262 - 9615 |
| 【大阪教会】 | 〒 532-0028 | 大阪市淀川区十三元今里 3-4-10
T E L 06 - 6308 - 5637 |
| 【名古屋教会】 | 〒 454-0808 | 名古屋市中川区九重町 3 - 10
T E L 052 - 351 - 3904 |

上記の教会にお申込み下さい。必要な冊数を毎月お送りします